

市ケ谷出版社発行

令和6年度版（2024年度版）

「1級管工事施工管理技士 第二次検定 実践セミナー」

本書に下記のとおり記載内容の誤りがありました。ここに訂正致します。

大変ご迷惑をおかけしまして、申し訳ありません。

市ケ谷出版社・著者一同

頁	誤	正
88	〔設問4〕 …B作業を1日又はC作業を1日短縮する。	…B作業を1日並びにC作業を1日短縮する。
174	〔設問3〕 変更後のイベント⑨の最早開始時刻：16日	変更後のイベント⑨の最早開始時刻：17日
	表3.15	下記に表す。(赤字が修正箇所)

表3・15 最早開始時刻の計算

イベント	作業内容	アクティビティ	計算	最早開始時刻
①				0
②	A	①→②	0+5=5	5
③	B ダミー	①→③	0+5=5	5
		②→③	5+0=5	
④	C	①→④	0+5=5	5
⑤	F	④→⑤	5+6=11	11
⑥	E ダミー	③→⑥	5+5=10	11
		⑤→⑥	11+0=11	
⑦	D1 ダミー	②→⑦	5+3=8	11
		⑥→⑦	11+0=11	
⑧	G	⑥→⑧	11+5=16	16
⑨	D2 ダミー	⑦→⑨	11+6=17	17
		⑧→⑨	16+0=16	
⑩	H	⑤→⑩	11+7=18	22
	J	⑧→⑩	16+4=20	
	I	⑨→⑩	17+5=22	

頁	誤	正
175	〔設問 5〕 …短縮パターンは、H 作業を 1 日短縮する。  (解説) 1 日短縮する必要がある組み合わせを表 3・16 に示す。	…短縮パターンは、F 作業と I 作業をそれぞれ 1 日短縮する。  (解説) クリティカルパスで、条件より 2 日短縮する必要がある組み合わせを表 3・16 に示す。

表 3・16 2 日短縮する必要がある組み合わせ

短縮パターン (短縮する作業：短縮する日数)	結果 (条件による可否)
C :	開始 5 日目以前であるので、短縮できない
F : 1 日	2 割以内で 1 日短縮が可能
D2	条件で変更できない
I : 1 日	2 割以内で 1 日短縮が可能

したがって、作業日数を短縮する作業内容の数が最小となる短縮パターンはなく、F 作業と I 作業をそれぞれ 1 日短縮するパターンが該当する。